レッスン：１“M”

テーマ：マクロコスモス

Mシリーズ/MAC1.DOC

私の兄弟・姉妹達、

スピリット、光、火の子供たちよ。私達は常に神、絶対、神の聖性に抱かれています。

新たなシリーズにおいて、私達はマクロコスモス（＊大宇宙）、メゾコスモス（＊中宇宙）、そしてミクロコスモス（＊小宇宙）を学ぶことになります。それらの世界の全ての局面を調べ、学び、それらの現れの意味の中に入り、それらが互いにどのように関係しているか、それらが諸宇宙、創造界、人間、絶対存在とどのように関係しているか、を理解します。

私達はそれらの意味の包括的な図、そしてそれらが特に人間とどのように関係しているかを把握しようとします。コスモス、マクロコスモス、メゾコスモス、ミクロコスモスはギリシャ語に由来しています。コスモスとはユニバース（宇宙）に関する世界を意味し、マクロ、メゾ、ミクロはそれぞれ大、中、小を意味します。

以前、私達は絶対存在、神のアウタルキー（＊自己充足の状態）、聖なるエバレスキア（＊絶対存在がそれ自身を運動・波動・振動の状態を通じてそれ自身の中で表現した結果）について触れました。アウタルキーとは何であり、神のエバレスキアとは何であり、それら二つの状態から何がもたらされるのでしょうか？

絶対存在はその静的状態にあり、現わされていません。静的状態という場合、そこには結果がないことを意味します。アウタルキーにある絶対存在は自己充足しており、その主な特徴として、動き・波動・振動がありますが、それは何の結果ももたらさず、また、それに動き・波動・振動を与えるものはなく、それ自体で動き・波動・振動の状態にあります。それが絶対存在の状態であり、それを私達は聖なるアウタルキーと呼んでいます。

この状態は実際、いかなる人間も描写不可能です。転生のサイクル、Lifeの現象の中にある人間は、それを経験的に知ることは不可能です。たとえ、ある人がこの状態を知ることができたとしても、それを描写、説明することは不可能です。なぜなら、意味を通じてその状態を理解するわけではないからです。どんな人であっても、いまだLifeの現象の諸世界にいながらテオーシス（＊神との再合一）に到達したと主張することはありえないことです。

私達は聖なるエバレスキアをどこに見出すことができるでしょうか？聖なるエバレスキアは神のアウタルキー内にあります。時間・空間によってアウタルキーが存在しているのではないので、そこには空間・時間という感覚はありません。絶対は過去においても、現在においても、未来においても常にそれ自身の中において黙想し、必ずしも創造・表現をする必要がない状態で創造し、現わしており、そうでない時はありません。

その多重性の中にある絶対存在は、完全に神のエバレスキア内にあることは決してなく、完全に聖なるアウタルキー内にあることもありません。これら二つの状態が継続的にあるのです。

以前、神の本質、神の特徴、そしてさらにマクロコスモス、メゾコスモス、ミクロコスモスとしての諸世界を築き、維持するために必要な要素であるマインドについて触れました。諸宇宙が存在するためには、創造界の現象が存在するためには、活性剤が必要であり、活性化させて結果をLifeむための手段が必要です。それゆえ、黙想する存在、マインドの使用による創造界、マインドの使用を通じての現れが必要なのです。

\*Page2

一番目は、完全に独立していて、アウタルキーにある絶対存在です。二番目は創造、構造であり、それによって諸宇宙、物質界、エーテル界、サイキカル界、ノエティカル界、ノエティック界、超ノエティック界が築かれます。三番目は創造界におけるLifeの現れです。

マクロコスモスと言うとき、それは何を意味するでしょうか？マクロコスモスとは最大のものから最小のものまで全てです。神の黙想とブレーシス（＊神の意志）から、マクロコスモスのイデアがあり、聖なるエバレスキアの結果としてマインドが神の現れ・表現となります。

今や、現れとして、そしてマインドを通じて、私達には創造界とマクロコスモスがあり、そこでは神の本質・特徴、そして神自身における属性が完全に投射、表現されています。マクロコスモスとして創造界が存在し、それらの世界は七つのヘブンに分かれ、種々の波動のマインドによって特徴づけられています。モナドが下降し、創造の諸世界で現れるためには、まずそれが元型・イデア・法則・原因の世界、超ノエティックおよびノエティック界に入る必要があります。これらの世界は四つのヘブンであり、それらは絶対的現れと完全性の世界です。それらはステートの世界、リアリティーの世界であり、そこでは魂のセルフ・エピグノーシスが完全に表現されています。

それらの世界ではマインドは構造であり、また原初の火、アネスペロンの光（Anesperon Light）、エーテル、そしてスーパーサブスタンスとしての現れの手段です。それらの世界は経験の世界（＊現象界のこと）、制限あるいはニーズ（＊必要性）の世界ではありません。

経験の諸世界で表現するためには、私達はLifeの現象の世界、実存(existence)の世界、制限とニーズの世界、知覚の世界、次元の世界に入る必要があります。

これらの諸世界は三つのヘブンであり、そこには５次元のノエティカル界があり、それが高次ノエティカルおよび低次ノエティカルに分かれ、さらに４次元のサイキカル界があり、最後に3次元の物質界があります。

これらの諸世界には構造、Lifeの現象の表現手段としてのマインドがあり、それは高次ノエティカル界ではスーパーサブスタンスの波動となり、低次ノエティカル界ではサブスタンス、サイキカル界では超物質、物質界では物質の波動となっています。これら三つの世界は現在のパーソナリティーの世界です。神のアウタルキーとしてのマクロコスモスは何処にあるのでしょうか？マクロコスモスは神のアウタルキーの中にあります。なぜなら、神のアウタルキーの外にあるものはないからです。創造界もまた神のアウタルキーの中にあるのですが、創造界には運動と現れがあります。創造界の超ノエティック界、ノエティック界にはLifeの現れがあります；それらの世界では運動・波動・振動が、元型・イデア・法則・原因としての動き、波動、振動をもたらしますが、特定の結果が生じることはありません。Lifeの現象の世界では、運動・波動・振動は、動き、波動、振動に特定の結果をもたらします。それらの世界はアウタルキーにおいても、そしてそこから全てが始まる絶対エネルギーの中にもあります。

人はこの絶対エネルギーをどのようにして認識できるのでしょうか？

その人が認識し、把握できるものだけを認識することができます。その本質は上から下への探求というよりもむしろ、下から上への探求なのです。

\*Page3

探究者が進歩・成長するためには、創造のマトリックス（＊母体、基盤）に関するリアリティーを理解する必要があります。その結果、ミクロコスモスを扱うことによってメゾコスモスとマクロコスモスに入ることが可能となります。

ミクロコスモスはアイコンであり、マクロコスモスと類似しています。私達はこのリアリティーをそれぞれ、多くの人々にとって触知可能か否かで述べていますが、それは理解を助けるためでありそれ以上の理由はありません。

探究者は探求を上から下に向けて始めることはしません。なぜなら、もしそれができるなら、その人はもはや無知の状態にはいないからです。自分自身の真の偉大さを表現できるので、もはや探求者ではありません。

人は自分の無知という制限を越えた状態を理解することはできません。もし理解できるとしたら、その人が無知に閉じ込められている理由がないことになります。

探究者にとっての出発点は、その人の認識レベルが表現されている段階からです。しかし、少なくともその人はある程度、どこに行こうとしているのか、あるいは少なくても到達目標を知っている必要があります。

勿論、探究者は詳しいことはわかりません。なぜなら、詳細は絶えず変化しており、この変化は上昇の道における各探究者によって異なっているからです。二人の人が特定の状況あるいは状態について同じ理解を示すということはありえません。

**今のところ、あなたの上昇の道において出会う可能性のあることに対して準備をします。次第に私達は、真理の探究者の真のワークが始まるポイントに到達するでしょう。**

投射されたマクロコスモスは神の本質としての特徴の属性の一つであり、それゆえ、マクロコスモスは絶対存在と似ています。投射の瞬間から、神の本質そのもの、そして神の特徴が同時に投射されたのです。なぜなら、神の特徴とは神の本質の結果だからです。

マクロコスモスは絶対存在それ自身ではありません。それが絶対存在それ自身だとすれば、私達は神を聖なるエバレスキア内に制限することになります。聖なるエバレスキアは神のアウタルキーの中にあります。聖なるエバレスキアは、絶対英知・絶対パワー・絶対善としての神の本質と特徴を有し、表現することによって、神自身の一部となっています。それはミクロコスモスとしての人間に類似しています。

古代ギリシャ人が「人間が自分自身を知れば、宇宙を知るであろう」という有名な言葉を残しましたが、それは何を意味したのでしょうか？“人間は思考・行動の仕方として、そのレベルの理解を知るべきである”ということ以外に何の意味があるでしょうか？言い換えれば、あなたの現れの手段を十分に知る、ということです。現れという言葉で私達は諸体を通じた理解のレベルを意味し、ミクロコスモス・メゾコスモス・マクロコスモスである現れの手段を意味します。ミクロコスモスである人間が自分自身を知る瞬間に、彼はまたメゾコスモスとマクロコスモスをも知るのです。

私達の現れを通じて、私達は自分の諸体をマスターするのです。なぜなら、私達の現れは無知に囲まれており、無知は私達の本質でもある絶対英知・絶対パワー・絶対善としての特徴を私達が現すことを阻むからです。インナーセルフとして、質的には私達は主である父と同じです。私達は量的に異なっているだけです。私達は全体の中の一つのモナドであり、海における一滴の水ですが、質的にはこの小さな部分は同じ本質を有しているのです。

最大のものから最小のものまで、全てはマクロコスモスです。しかし、マクロコスモスとして、それは聖なるエバレスキアの中にのみあるのでしょうか？無からは何も投射されません。イデアとしてのマクロコスモスは絶対存在の本質の中にあり、神の黙想を通じて表現されます。マクロコスモスの中にあるものは全て不変の神の法則の下にあり、創造界の中でのみ形成され、現れるのです。マインドを通じて創造の諸世界は築かれ、維持されます。

マクロコスモスは一つの現れであり、最大のものから最小のものまで全てです。それは聖なるエバレスキア内の絶対存在としての絶対エネルギーの一つの現れなのです。

私達は常に神、絶対、神の聖性に抱かれています。

“M”シリーズ/M1.4　終り